

△市内米軍施設の現況等について

◆（加納委員） この別紙、何も触れてなかったのだけれども、要は、しっかり読んでよという話だったですよ。それで、この別紙にちょっと触れたいのですけれども、提案内容の説明のところ、国際園芸博覧会の開催後の会場については、跡地利用の核となる都市公園を想定しているとありますね。本編の8ページ、9ページの上瀬谷のことについては、全くこの辺は触れてないのだけれども、ここの整合性というか、どう読んだらいいのか。別紙では都市公園を想定ということと、ただ、きょうの現況等についての資料には、どのページのところに何も入っていないので、この辺の整合性だけ教えてください。

◎（青木基地担当理事） 説明を省略して大変申しわけございません。今加納委員の御指摘でございます。本編は、さっきもこれも省略させていただいたのですけれども、本編の8ページ、上段から3つ目の枠のところ跡地利用指針というのがございます。その中の②で、緑を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間ということで、平成16年6月に方向性を定めたものでございますけれども、概念として緑を享受する首都圏郊外のレクリエーション空間ということですが、実際施設としては、こういうものは都市公園になるということで、これとの整合をとっているつもりでございます。国際園芸博覧会の会場としては、そういうところでやるのがふさわしいだろうということで、こういう考えを想定しておりますけれども、まだ都市公園として決定しているわけではございませんので、これから跡地利用の中で正式に含めていくという段階でございますけれども、方向性としてはもともと公園という機能はあったというものでございます。

◆（加納委員） 非常にわかりづらくて。今の説明で本当にそうなのかと。それから、別紙の裏、開催の基本事項（想定）というところで、約250名の地権者の皆様と、と書いてあるけれども、この辺のことについて現在どういう説明をして、どんな感触なのかということがもしわかれば教えてほしいのです。

◎（青木基地担当理事） 地権者の皆様方とは、農業専用地区協議会の役員の方々を初め、個別の方々も含めていろいろな場で御説明をして、おおむねこの国際園芸博覧会を検討していくということについては、御理解をいただいているところではございます。具体的には、役員の方々ややる検討会や、あるいは全員の方に集まってお話の機会、あるいはことしの6月から秋にかけて250人の方々ほぼ全員、個別に面談をさせていただいております。そういう中で、国際園芸博覧会の検討の状況などを説明させていただいて、おおむね御理解いただいていると思っております。

◆（加納委員） それから、引き続き別紙の表面で、提案内容の説明の一番下、今後設置予定の国際園芸博覧会招致検討委員会（仮称）、いつごろ、どういうメンバーを想定しているのか、もしこの辺のことについて方向性や状況、スケジュール化などがもしわかれば、今の時点で結構ですから教えてください。

◎（小林政策局長） まさにこれから設置予定（仮称）ということでございますけれども、今我々は内部基礎的な検討をしておりますけれども、国に今回、支援と協力（1）（2）を要望しておりますが、その基本となる国際園芸博覧会の中身についてもうちちょっと突っ込んだ検討をしなければいけない。それは通常こういう検討委員会を組織して検討し、委員の皆様方の御意見もいただいた上で、国に正式にこのように横浜市としてはやりたいので、ぜひ国の事業として採択してほしいという正式な要請をすることが来年度あると思います。そのための準備をこの委員会

を中心にやっていきたいということで、この中身については、平成 29 年度予算の中で、私どもは委員の皆様方、市会のほうに予算の中で御提案をしていきたいと考えておりますけれども、一般的にはこの検討委員会にはいわゆる有識者の方々、あるいは関係者の方々が入って、花博とはどうしたものか、どういうものでやるべきか、あるいはコンセプトはどういうものでやるべきか、スケジュールはどういうことかと。私どもまさに、さっき加納委員が言われた別紙の裏面に想定と書いておりますけれども、この想定といった基本的な概要とともに、もう少し詳しい内容を議論していくこととなります。

したがって、学識経験者を中心とした関係者で組織するということとなりますけれども、詳細には予算案の中で御説明していきたいということで、今鋭意検討中でございます。

◆（加納委員） そうすると、確認ですけれども、平成 29 年度の予算案の中にこれが入ってくると。したがって、そのときにはおおむね今おっしゃっていただいた有識者と言われる方たちのメンバーや、どういう専門性を持った人かというものが記載されて、ある種提案されてくるという認識でいいのですか。

◎（小林政策局長） 予算案を御提案する際に、今加納委員に御指摘いただいたことが全てセットで出るというのはそれぞれ濃淡がございます。例えばどんなメンバーかということになりますと。まずは通常こういった外部委員会は附属機関になりますので、附属機関の条例議案として提案するときに詳細のことを御説明することになろうかと思っておりますけれども、予算案の段階では、今申し上げた内容、枠組み、内容がもう少し具体的に御説明できるようにしたいと思っております。

繰り返してございますけれども、委員会の設置時期あるいは設置メンバーの委員の皆様方の具体的な名前や、どんな分野の方なのかといったことは、もうちょっと先になるのかなと思っております。

◆（加納委員） よく常任委員会で附属機関の状況等と言って、4月、常任委員会の最終委員会ぐらいでいつも報告してきますよね。今局長、来年度に国へ要請とおっしゃっているから、細かいことは別にして、国へはいつごろ報告をしなければならないのか。いわゆるお仕着せな考え方でいうと、速やかにこうやって発信している以上は、来年のいつごろまでに国へと。そうなると、いつごろ議会で報告をしなければいけないのかということからすると、おおむねのスケジュールはある程度想定していると思うのですが、その点について今はどう考えているか教えてください。

◎（小林政策局長） 想定といったところに書いておりますが、今私どもは 2026 年の開催を目指し、作業をしております。したがって、このたぐいはできるだけ早目に手を打ったほうが良いと思っておりますけれども、一方、中身については十分横浜らしい花博であったり、日本を代表する国際博覧会になりますので、そうした内容についてもしっかり検討しなければならないと、一定の時間がありますし。市会の皆様方の御意見、あるいは市民の皆様方の御意見をいただく期間も必要になりますので、余り拙速にいついつということは、今目標として申し上げる段階ではございません。ただ、来年度のしかるべき時期といたしますか、秋以降には、ぜひこのあたりを具体化し、国にも適切な時期に要請したいと思っておりますので、今出ております委員会についてもできるだけ早期に立ち上げて、早目早目の検討をしていきたいと思っております。

詳細については、さまざま過去の大阪の博覧会の状況や、今現にトルコのアンタリアでことしも開かれておりますけれども、そうした情報収集している段階で、具体的な日程についてはもう少し猶予をいただきたいと思っております。

◆（加納委員） ありがとうございます。

それから最後、本編の 8 ページの暫定利用のところのウドの状況、こういった形で記載されているのですが、青木理事、もう少し具体的に何か御説明いただければありがたいのですが。

◎（青木基地担当理事） まず、ウドでございますけれども、今シーズンまでは現在あるウド室で栽培していただくことになっております。ただ、栽培については今シーズンまでということで、来年度は現況に復旧して国に返還することになっておりますので、来年度については今のやり方でできないということで、ことしは2軒の農家の方がこの上瀬谷通信施設の地区外になりますけれども、そこでビニールハウスをつくり実験的に栽培してみると。その結果で、そのやり方をやっていくか、あるいは工夫が必要であれば、工夫を重ねて続けていくという段取りになっております。

◆（加納委員） それから最後、今3野球場で横浜市が受けて、区とも連携しながら使っていただきますよね。以前から要望をしてあるのだけれども、野球だけではなくて、あその場所をほかの種目の方たち、もっと言うと、例えば犬を散歩している方、たこを揚げていたりとかいろいろな方たちがあそこを使わせていただきたいという御要望を出しているはずなのです。区へもそういった御要望も上げているし、多分区からもそういった意見が出ていると思うのですけれども、今どのような声が上がっているのか、区から局にどのような要望が来ているのか、その現状をまず教えてください。

◎（青木基地担当理事） 上瀬谷につきましては通称海軍広場と言われていたところが、海軍道路の東側に大きな広場があったのですが、それは米軍時代は正式に許可というわけではなかったのだと思います。事実上利用できたということで、返還になって国にこの管理が移ってからは、国は国有地と民有地の境に柵をいたしましたので、そういう意味では、以前、例えばたこ揚げやラジコンをされた方々が活動ができなくなったということで、区としては、そういう方々というわけではありませんけれども、かつて海軍広場が使われておりましたので、引き続き使わせるよう国に協議してほしいという要望がございます。

ただ一方、先ほど花上委員からもございましたけれども、まだ土壌汚染の調査が終わっておりませんので、その土壌汚染の終わった後にどういう使い方ができるか、区とともに検討していきたいと思っております。

◆（加納委員） ぜひ今言った土壌汚染の調査その他のこともあるのですが、多分区からも意見が入っているかと思っておりますけれどもね。特に広大な敷地の中でいろいろな方たちが自分たちでルールをつくりながら、そして横浜市や区と連携して、ある種、自分たちが草を刈ったり、自分たちの中でルールを決めて使わせていただきたいという御要望が幾つかあるかと思っておりますので、今のスケジュールの中で今後、そういった二次的・三次的な、暫定的に使えるものの検討をさらにしていただきたいと思うのですけれども、その辺について方向性だけお示してください。

◎（青木基地担当理事） まさにそのとおりで、区もそういったことを非常に心配しておりますので、区と調整しながら引き続きやっていきたいと思っております。